

**特定非営利活動法人 雄武町観光協会**  
**平成30年度 通常総会議事録**

- 1 日 時 平成30年5月18日（金） 午後6時30分～午後7時30分
- 2 場 所 雄武町地域交流センター 多目的ホール
- 3 正会員総数60名 うち参加者48名（出席者17名、議長委任者31名）
- 4 審議事項  
議案第1号 平成29年度事業報告並びに活動決算の承認について  
議案第2号 平成30年度事業計画並びに活動予算の承認について  
議案第3号 役員改選について
- 5 議事の経過の概要及び議決の結果

〈以下敬称略〉

《後藤事務局長による定数確認》

《河島副理事長による開会宣言》

《太田副理事長から挨拶》

ご多忙中のところ御出席頂きまして誠にありがとうございます。説明がありましたように、高橋理事長が急遽入院のため、かわりに挨拶を申し上げます。

現在の観光協会事務局は、一年経っていない新事務局長と職員、そして地域おこし協力隊員の合計3名の事務局態勢で臨んでおります。事務局にはチャレンジ精神を発揮して新しい観光資源の開発や観光の推進を図れるよう望んでいるところです。従来イベントの対応だけに追われないよう、新しい芽を育て、時間はかかるかもしれませんが、ひとつひとつ拾い上げて花を咲かせるべく、力を尽くしてもらいたいと考えています。

皆様のご協力を頂きながら、観光協会としても観光の推進に向けて懸命に取り組んでいるのですが、資源の発見のチャンスに恵まれ、いろいろな情報をお持ちの町内の皆様から、より一層の情報提供、ご支援をお願いする次第です。皆様のご意見、ご提案を参考に、ツアー等を企画して参りたいと思いますので、本会におきましては忌憚ないご発言をお願いしまして挨拶に代えさせていただきます。

（※5月20日現在、高橋理事長は快方に向われているとのことです）

《来賓祝辞：中川原町長》

平成30年度特定非営利活動法人雄武町観光協会通常総会が開催されるにあたり、お祝いのご挨拶を申し上げます。会員多数のご出席のもと、平成30年度特定非営利活動法人雄武町観光協会通常総会が挙行されますことを、心からお祝い申し上げます。

また、特定非営利活動法人雄武町観光協会の役職員の皆様並びに会員の皆様におかれましては、日頃から本町の観光振興に多大なご支援とご協力を賜っておりますとともに、「産業観光まつり」や「雄武の宝“うまいもん”まつり」の開催など、町のイベントの中心的な役割を担っていただいていることに対しまして、厚くお礼申し上げます。

さて、観光は、地域における消費の拡大や新たな雇用の創出など、幅広い経済効果や交流人口の拡大に大きく貢献し、地域づくりに一層の活力をもたらすものであり、その重要性は、ますます高まっております。また、旅行につきましては、団体旅行の減少やSNSなどで映像を見て旅行先を

決めるなど、情勢が変化してきている一方で、国内旅行者が求めるニーズは、依然として「温泉旅行」、「自然観光」、「グルメ」が上位を占めております。

このような状況の中、本町には、心を癒す大自然や温泉を有し、さらには新鮮で美味しい食がありますが、雄武町でしかできない体験、雄武町でしか味わえない料理など、雄武町ならではの魅力をさらに磨くため、本年度、観光の発展に向けた基本指針を示した「雄武町観光マスタープラン」を策定することとしており、策定にあたりましては、貴協会からのご意見やご提言を尊重したいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

また、西紋別地域5市町村での広域連携による観光ルートづくりやプロモーション活動など、引き続き広域観光事業を実施することとしておりますが、新たな観光の魅力づくりに向けては、観光協会との連携が必要不可欠でありますので、今後も、お力添えをいただきますようお願い申し上げます。

最後になりますが、特定非営利活動法人雄武町観光協会の益々のご隆盛と、会員皆さまのご健康とご多幸を祈念し、お祝いの挨拶とさせていただきます。

本日のご盛会、誠にありがとうございます。

### 《議長選出》

事務局案として議長に、嶋村義文会員を選出。満場一致で選出され、下記議案につき審議した。

### 《議事録署名人選出》

議長から議事録署名人として、白石豊喜氏（北見信金）と石井弘道氏（株式会社神門）の2名を指名。

### 《議 事》

#### ○議案第1号 平成30年度事業報告並びに活動決算の承認について

事務局からの説明及び高橋監事からの監査報告があり、満場異議なく本件は可決された。

#### ○議案第2号 平成30年度事業計画並びに活動予算の承認について

事務局からの説明後、高田勉氏より質疑

高田氏：観光物産事業のなかで、物品販売（観光協会のロゴ入り絵はがきとバック）とありますが、イベントとかで販売するのでしょうか

後藤局長：イベントでも販売しますが、委託販売で、道の駅おうむ内売店いっぷく屋、ホテル日の出岬、ブルーグラスファームで販売をお願いしております。非営利活動法人ですが、コンサルを委託している渡邊税理士事務所と協議の上、（観光PRを目的とした情報発信の取り組みとして）今のところ対応しています。

高田氏：法人税は減免されるということですか。

後藤事務局長：減免申請をしたうえで、そのように図りたいと思います。

#### ○議案第3号 役員改選について

議長：（会員に諮ったうえで、事務局案の発表を指示）

後藤局長：では、議案第3号 役員改選についてですが、3月の理事会にて、基本的には留任ということで異論がなく、水産加工業協同組合を退職される高橋監事の後任の渡邊孝司に監事をお願いすることを含め承認されております。以上の案を提出させていただきます。

議長：高橋監事を渡邊孝司さんが引き継ぎ、他は全て留任、これが事務局としての案ということですが、皆さん何かございますか。

それでは役員改選について、事務局案を承認していただけますか。拍手でご承認願います。

それでは提案された議案について審議を終わりたいと思います。

引き続き、事務局より今後の活動に活かしたいという意向で、せっかくの機会ですので、会員の皆様から常日頃観光についてのお考えとか、小さなことでも構いませんから活発なご意見を頂きたいとのことですが、ございませんか。…それでは私の方から、30年度事業計画書で、自立した組織を目指す基盤づくりとありますが、町からの助成金の補助が主財源の現状から、いづらかでも自主財源の確保を目指すということでしょうか、何か方向性のようなものはありますか。

後藤事務局長：一つは雄武町の計画にもございますが、滞在型の体験プログラムを活かしたツアーを造成し販売する旅行業の立ち上げですが、これは近隣との広域的な取組が不可欠になると思われまます。観光は宿泊を伴わない通過型では、なかなか稼いで潤いが循環する流れが生まれません。既存宿泊施設との共存が課題となりますが、6月に解禁となる交流民泊（年間180日以内営業）や住宅宿泊仲介業、住宅宿泊管理業、（サイクリング大会など手始めとして、イベント民泊からスタートし着地型観光のワンストップ窓口としての総合的なコンサルティング業務も含め観光のプラットフォームを目指すことも可能）等の運営が考えられます。（空き部屋利用の農家・漁師民宿や、独居住民の貧窮、孤立化対策としても有効と思われまます）

議長：他にないようでしたら、以上にて退席とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

《議長退任》

《河島副理事長より閉会宣言》

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に記名押印をする。

平成30年5月18日

議長 嶋村 義文



議事録署名人 白石豊喜



議事録署名人 石井弘道

